



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月9日

上場会社名 **ゼット株式会社** 上場取引所 大証二部
 コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 渡辺 泰男
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役管理統括本部長 氏名 池下 正憲 TEL (06) 6779-1171
 配当支払開始予定日 平成 一年 一月 一日

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	11,173 △2.3	428 △7.7	449 △5.6	△68 -
19年3月期第1四半期	11,433 △1.2	464 △11.4	475 △10.0	287 △2.1
19年3月期	43,024	958	1,000	515

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	△3 41	- -
19年3月期第1四半期	14 35	- -
19年3月期	25 72	- -

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	24,668	9,946	40.3	496 04
19年3月期第1四半期	25,877	9,926	38.4	494 89
19年3月期	23,641	10,106	42.7	504 00

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	1,444	△368	△260	3,612
19年3月期第1四半期	848	△13	△235	3,560
19年3月期	595	△225	△534	2,797

2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	22,000 0.3	500 △0.6	520 △1.1	△20 -	△1 00
通期	44,000 2.3	1,000 4.4	1,020 2.0	230 △55.3	11 47

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有
〔新規 1社（社名 株式会社ブリリアンス） 除外 1社 〕
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

*業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰、米国経済の減速、金利上昇などの懸念材料があったものの、企業収益の改善を背景に設備投資は引き続き堅調に推移し、雇用環境も改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調となりました。

当スポーツ用品業界におきましては、少子化の影響等による個人消費の低迷が続き、競争は益々激化しております。

このような状況の中で当社グループは、「革新」をスローガンに①自社品の拡充、②外商・スクール、アスレマーケットへの対応強化、③ライフスタイルマーケットへの対応強化、④ボディケアマーケットへの対応強化、⑤コスト競争力の強化を課題に取り組み、業績向上に務めました。

事業部門別においては、小売部門は厳しい環境のなかライフスタイル提案や健康意識の高まりにより登山関連の商品の動きが良かったことにより堅調に推移しましたが、卸売部門、製造部門、その他部門は、流通構造の変化、競争激化、天候不順の影響等により低調に推移しました。

この結果、当第1四半期の売上高は11,173百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は428百万円（同7.7%減）、経常利益は449百万円（同5.6%減）、四半期純損失は、特別損失として役員退職慰労引当金過年度分相当額330百万円を計上したことにより、68百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,027百万円増加し、24,668百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加815百万円、棚卸資産の増加64百万円、投資その他の資産の増加53百万円等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,186百万円増加し、14,721百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1,191百万円等であります。

純資産合計は、四半期純損失の計上により9,946百万円となり、自己資本比率は40.3%となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、営業活動の結果得られた資金は、1,444百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加による収入1,191百万円や役員退職慰労引当金の増加337百万円等によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、368百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出363百万円等によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、260百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出136百万円や配当金の支払額124百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、原油価格の高騰による原材料の値上り、金利上昇懸念、米中景気等の不安要素があり、当面は不透明なまま推移するものと思われれます。

このような状況のもと、当社グループは当面の課題を克服するとともに、「健爽美術館」等の新規事業を進展させ、事業拡大に努めてまいります。

業績予想につきましては、現時点においては、平成19年5月17日発表時の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

株式会社ブリリアンスを平成19年4月3日に設立しました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

①棚卸資産については、実地棚卸は行わず、帳簿棚卸残高によっております。

②引当金の計上基準、その他影響額が僅少なもののについては、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

平成19年度法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産のうち、償却可能限度額まで償却が終了しているものについては、その残存簿価を5年間で均等償却しております。この変更に伴う影響額は軽微であります。

(役員退職慰労引当金)

従来、役員退職慰労金は支出時の費用として処理しておりましたが、改正後の「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」（日本公認会計士協会 監査・保証実務委員会報告第42号）を適用し、内規に基づく期末要支給額を役員退職慰労引当金として計上する方法に変更いたしました。この変更により、第1四半期の発生額7百万円は販売費及び一般管理費へ、過年度分相当額330百万円は特別損失に計上しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(資産の部)								
I 流動資産								
現金及び預金	3,560		3,612		52		2,797	
受取手形及び売掛金	11,366		10,869		△ 496		10,859	
棚卸資産	3,631		2,665		△ 966		2,600	
繰延税金資産	345		356		11		254	
その他	271		160		△ 111		151	
貸倒引当金	△ 19		△ 21		△ 2		△ 19	
流動資産合計	19,156	74.0	17,643	71.5	△ 1,512	△ 7.9	16,643	70.4
II 固定資産								
有形固定資産	4,257	16.5	4,502	18.3	244	5.8	4,526	19.2
無形固定資産	33	0.1	33	0.1	△ 0	△ 0.2	33	0.1
投資その他の資産	2,406	9.3	2,472	10.0	65	2.7	2,418	10.2
固定資産合計	6,697	25.9	7,007	28.4	310	4.6	6,978	29.5
III 繰延資産								
開業費	23		17		△ 6		18	
繰延資産合計	23	0.1	17	0.1	△ 6	△ 26.7	18	0.1
資産合計	25,877	100.0	24,668	100.0	△ 1,209	△ 4.7	23,641	100.0
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形及び買掛金	11,230		9,995		△ 1,235		8,804	
短期借入金	985		1,051		66		1,136	
未払法人税等	235		274		39		204	
未払消費税等	43		82		38		52	
賞与引当金	564		577		12		388	
役員賞与引当金	—		—		—		27	
その他	511		475		△ 36		971	
流動負債合計	13,570	52.4	12,456	50.5	△ 1,113	△ 8.2	11,586	49.0
II 固定負債								
長期借入金	1,110		637		△ 472		688	
繰延税金負債	192		240		47		205	
退職給付引当金	394		380		△ 14		385	
役員退職慰労引当金	—		337		337		—	
その他	684		669		△ 14		669	
固定負債合計	2,380	9.2	2,265	9.2	△ 115	△ 4.9	1,948	8.3
負債合計	15,951	61.6	14,721	59.7	△ 1,229	△ 7.7	13,534	57.3
(純資産の部)								
I 株主資本								
資本金	1,005	3.9	1,005	4.1	—		1,005	4.3
資本剰余金	2,968	11.5	2,968	12.0	0		2,968	12.6
利益剰余金	5,422	20.9	5,442	22.1	19		5,650	23.9
自己株式	△ 9	△ 0.0	△ 11	△ 0.1	△ 1		△ 11	△ 0.1
株主資本合計	9,387	36.3	9,404	38.1	17	0.2	9,613	40.7
II 評価・換算差額等								
その他有価証券 評価差額金	539	2.1	540	2.2	1		492	2.0
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 0.0	0	0.0	1		0	0.0
評価・換算差額等合計	538	2.1	541	2.2	2	0.5	492	2.0
純資産合計	9,926	38.4	9,946	40.3	20	0.2	10,106	42.7
負債・純資産合計	25,877	100.0	24,668	100.0	△ 1,209	△ 4.7	23,641	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円未満切り捨て)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)		増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	百万円 11,433	% 100.0	百万円 11,173	% 100.0	百万円 △ 259	% △ 2.3	百万円 43,024	% 100.0
II 売 上 原 価	8,846	77.4	8,626	77.2	△ 219	△ 2.5	33,649	78.2
売 上 総 利 益	2,587	22.6	2,547	22.8	△ 39	△ 1.5	9,375	21.8
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,123	18.5	2,118	19.0	△ 4	△ 0.2	8,416	19.6
営 業 利 益	464	4.1	428	3.8	△ 35	△ 7.6	958	2.2
IV 営 業 外 収 益	29	0.3	37	0.3	7	27.2	112	0.3
V 営 業 外 費 用	17	0.2	16	0.1	△ 1	△ 6.8	69	0.2
経 常 利 益	475	4.2	449	4.0	△ 26	△ 5.5	1,000	2.3
VI 特 別 利 益	4	0.0	0	0.0	△ 3	△ 82.2	12	0.0
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	4		0		△ 3		12	
VII 特 別 損 失	33	0.3	341	3.0	308	915.6	95	0.2
役 員 退 職 慰 労 金	33		11		△ 21		33	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	—		330		330		—	
そ の 他	0		—		△ 0		61	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	446	3.9	107	1.0	△ 338	△ 75.8	917	2.1
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	236	2.1	275	2.5	39		344	0.8
法 人 税 等 調 整 額	△ 77	△ 0.7	△ 99	△ 0.9	△ 21		57	0.1
四 半 期 (当 期) 純 利 益 又 は 純 損 失 (△)	287	2.5	△ 68	△ 0.6	△ 356	—	515	1.2

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		446	107	917
減価償却費		43	49	179
貸倒引当金の増加額・減少額(△)	△	2	1	44
賞与引当金の増加額		186	188	11
役員賞与引当金の増加額・減少額(△)		—	△ 27	27
退職給付引当金の減少額	△	2	△ 5	11
役員退職慰労引当金の増加額		—	337	—
受取利息及び受取配当金	△	10	△ 9	16
支払利息		7	6	30
有形固定資産除却損		—	—	11
有形固定資産売却損		—	—	3
投資有価証券評価損		—	—	5
売上債権の増加額(△)・減少額		592	△ 10	1,099
棚卸資産の増加額(△)・減少額	△	877	△ 64	153
仕入債務の増加額・減少額(△)		1,046	1,191	△ 1,379
未払消費税等の増加額・減少額(△)	△	7	29	1
役員賞与の支払額	△	29	—	29
その他	△	146	△ 151	193
小 計		1,245	1,643	1,153
利息及び配当金の受取額		10	9	16
利息の支払額	△	7	△ 6	30
法人税等の支払額	△	400	△ 201	544
営業活動によるキャッシュ・フロー		848	1,444	595
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	2	△ 363	175
有形固定資産の売却による収入		—	—	94
投資有価証券の取得による支出	△	1	△ 1	22
貸付けによる支出		—	△ 5	130
貸付金の回収による収入		1	1	7
その他	△	10	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	13	△ 368	225
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
長期借入れによる収入		—	—	100
長期借入金の返済による支出	△	122	△ 136	492
配当金の支払額	△	113	△ 124	140
その他	△	0	△ 0	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	235	△ 260	534
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額・減少額(△)		599	815	△ 164
VI 現金及び現金同等物期首残高		2,961	2,797	2,961
VII 現金及び現金同等物四半期末(期末)残高		3,560	3,612	2,797

(4) 部門別売上高

(単位：百万円未満切り捨て)

事業部門の名称	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減	(参考)前期 (平成19年3月期)
	百万円	百万円	百万円	百万円
卸売部門	10,962	10,699	△ 262	40,849
製造部門	103	96	△ 6	509
小売部門	239	252	12	1,141
その他の部門	128	126	△ 2	524
合 計	11,433	11,173	△ 259	43,024